

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年7月30日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 43
校長 田中 成年

<不審者対応訓練>

～職員研修の様子～

子供たちが夏休みに入り早いもので10日になります。みんな地域に帰り、夏休みをそれぞれの場所で楽しく過ごしていることと思います。**水の事故、交通事故、不審者との遭遇**等、子供たちの身の回りには危険がたくさんあります。特に水の事故や交通事故は毎日のように報道がっておりますので、十分気を付けていきたいものです。

さて、子供たちが地域に帰っている期間、学校では先生たちが休む間もなく職員研修を行っています。今回子供たちが夏休みに入った翌週、会議等を終えた後に不審者対応の教職員訓練を行っている様子をお伝えいたします。

今回は長崎県警察本部県南サポートセンターから外部講師をお招きしての訓練でした。不審者役はサポートセンターの方に行っていました。職員同士で行う訓練とは違い、とても緊張感漂う雰囲気の中での訓練となりました。



不審な人物を発見した後の声のかけ方、対応の仕方、応援の呼び方、子供たちの避難誘導の方法等、誰が遭遇して誰が対応するか等、予測不可能な状況ですので、それぞれが一つ一つ確認しながらの訓練となりました。



不審者対応によく使用され、私たちも使い方を理解しているつमりの「さすまた」ですが、いざ使うとなると難しいものがあります。その使い方についても、講義・演習をしていただきました。

大人は自身の安全を守りつつ子供たちの安全も確保していかなければいけません。難しいところでは。刺激を与えることなく冷静に対応することが大切になりますが、まずは複数体制で対応をすることや子供たちの避難と安全を確保することが大切です。

これからも、職員一同、子供たちの安心安全のために研修を積み重ねていきたいと思ひます。

夏休み中、先生方は今回のような研修はもちろんのこと、校外での研修も行っております。この他にも、ここのところ不審者情報も増えてきておりますので、定期的に地域のパトロールに出かけ、子供たちの地域での様子を見守っております。

「**地域の宝**」である子供たちの安全を、家庭や地域のみなさんと連携しつつ見守っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。